

紀南病院広報誌

創刊号

平成17年7月発行

つながり

発行:紀南病院組合立紀南病院 三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和4750 ☎05979-2-1333(代) renkei-khp@zb.ztv.ne.jp(地域連携室)

紀南病院広報の発行にあたって

病院長
梅田 一清



このたび、はじめて紀南病院広報を発行する事になりました。この広報を通じて、病院の現状を地域住民の方々、医師会の先生方、市町村の行政担当の方々にお知らせし、病院の運営にご理解とご支援を頂ければと思います。

病院の現在かかえているもっとも大きな問題は、医師の確保、特に内科医師の不足です。病院勤務の医師不足は、今や大学病院、自治体病院をはじめ全国的な問題であります。そして医師の地域別、診療科別の偏在も生じてきています。特に医師派遣のほとんどを三重大学に依存していた当院では大きな影響を受けています。

卒後臨床研修必修化に伴い、研修医の大学病院離れと都市部病院への集中で、三重県内でもへき地病院の医師不足は深刻です。当院内科においても17年4月以降内科医師が4名と従来の半数になり、外来患者数の制限を行わざるを得ず、多くの患者様にご迷惑をおかけしました。この内科医師不足の対応策として、紀南医師会の先生方により、紀南病院での休日の日直診療や、三重県内の病院勤務の先生方による紀南病院での日当直の応援もしていただき感謝しております。

内科医師確保の対策として、インターネットを通じて全国から地域医療に関心のある医師を公募で6月1日より1名を採用し、この他にも将来的に病院に勤務して頂けそうな医師があり期待しているところです。現在産休中の女性医師も復帰し、内科医師の人数も次第に増え、7月11日より外来患者様への診療も今より充実させていくつもりです。また、三重大学附属病院からは、当院を地域教育基幹病院と位置付け、9月1日より指導的立場の医師の派遣も約束しています。

産婦人科医師の不足も全国的な傾向ですが、三重大学からの東紀州地域への産婦人科医師派遣は、当院に統合される事になりました。7月1日より3名の常勤医師が派遣される事になりました。尾鷲市を中心とした紀北地域の住民の方々への診療も週2回尾鷲総合病院への外来診療というかたちで協力していく予定です。

病院の他科の医師たちも医師不足の中、重症の二次医療、救急医療は年365日毎日受けざるを得ない状況の中で頑張っています。病状の比較的安定した患者様は、「かかりつけ医」の先生にその治療をお願いして、病診連携をはかりたいと思います。

医師確保対策として、この他にプロジェクトチームをつくっています。これは地域医療に経験の深い医師をリーダーとして、医師会の代表の先生、行政の担当者、病院内の職員で構成したチームで、近日中にその提案書が出される予定です。また診療録管理の基本とされる記載方法の統一化、情報の共有化の目的で、電子カルテの導入を決定し、11月はじめの運用開始を目標として、現在院内の委員会を中心に準備中です。

このようにかかえている問題点は種々ありますが、この地域唯一の公立病院として住民の方々には信頼される病院づくりに職員一同努力しなければと思います。

皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



院内トピックス①

内科の外来診療について

内科医師不足のため、住民の皆様にご迷惑をおかけしております外来診療を7月11日(月)より下記のような診療体制とさせていただきます。

内科外来担当表（7月11日より）

区 分	月	火	水	木	金
一診 初 診	松浦 医長	松浦 医長	松浦 医長	梅田 医師	澤幡 医師
二診 初診(午前)	駒田 医師	松井 医師	刀根 医師	松井 医師	鈴木 医師
三診 再診(午前)	刀根 医師	梅田 医師	鈴木 医師	澤幡 医師	駒田 医師
呼 吸 器 内 科	三重大学医師				
肝 臓 内 科					三重大学医師
糖 尿 病 内 科					三重大学医師

※ 初診の患者様につきましては、「かかりつけ医」の先生の紹介により予約された患者様を優先して診察させていただきます。それ以外の患者様につきましても診察させていただきますが、待つていただくことがありますのでご了承ください。

※ 初診・再診以外に、三重大学医学部附属病院の協力により、呼吸器内科、肝臓内科、糖尿病内科の専門外来は、週1回午後からの診察となっております。専門外来はすべて紹介状による予約制となっておりますので、診察を希望する患者様は当院の地域連携室にご相談ください。

<住民の皆様からいただいたご質問をいくつかご紹介します。>

ご質問 紹介状を持っていないければ、内科受診できませんか？

お答え できないわけではありません。診療させていただきますが、予約されている患者様が優先ですので、待つていただく時間が長くなる場合もございます。ご了承ください。

ご質問 糖尿病の専門外来を受診したいのですが、どのようにすれば良いのでしょうか。

お答え 内科専門外来を受診していただけるのは、地域のかかりつけの先生からの紹介予約患者さんのみとさせていただきます。よって、かかりつけの先生がいらっしゃる方は、かかりつけの先生にご相談いただくようお願い致します。かかりつけの先生がいらっしゃらない方は、まずは専門外来ではなく、当院一般内科の初診で受診していただき、そこでご相談いただくようお願い致します。

*「かかりつけ医」とは…普段病気になった時に、まずかかることにしている医院・医師のことです。その医師の専門外の病気や、高度医療が必要な場合には、適切な医療機関を紹介してさせていただきます。

疾病解説

乳癌について

外科
高橋 宏明



乳房は出産時に乳汁を分泌する皮膚の付属器官であり、その中には乳腺と呼ばれる腺組織と脂肪組織などが存在しています。乳癌は一般的に、この乳腺を構成する乳管の上皮細胞より発生する癌であります。乳癌の発生率は本邦において食事や生活習慣の欧米化に伴い、急激に上昇し、現在年間約30,000人の女性が癌に罹患しており、これは1970年の約3倍となっております。更に今後も上昇傾向は持続し2015年には48,000人となり、罹患率（癌にかかる患者さんの割合）は女性10万人に対して56.9人と部位別では女性の癌発生の1位になると予想されています。次に死亡率に関しては2002年の統計では、10万人あたり10.8人と胃癌、大腸癌、肺癌に次いで第4位となっております。また、乳癌の発生は40-50歳代の閉経前後の女性に多く認められ、乳癌発生の危険因子としては

- 1) 女性ホルモンの過剰 a. 初経年齢が早い b. 初産年齢が遅い c. 出産歴がない d. 閉経年齢が遅い
- 2) 肥満 a. 総脂肪量過剰摂取 b. アルコール過剰摂取
- 3) 遺伝的異常 a. 家族歴（近親者に乳癌の方がいる） b. 遺伝子異常 などがある。

一方、乳癌は他の臓器の癌に比較して比較的予後の良好な癌であり、早期に発見し、適切な治療を行うことにより90%以上の人を救うことができますが、現時点では非常に進行した状態で病院にかかる方も多く、約1/3の方が乳癌で死亡していることから、早期発見が重要とされています。乳癌のほとんどはしこりによって発見されており、自分で発見できる数少ない癌のひとつで、自己検診法の普及により早期発見が可能と考えられています。自己検診を行う時期に関しては乳房の張り感が減少し、しこりを見つけやすいとされる生理開始後5日目から1週間が良いとされています。

また乳癌検診も早期発見のために重要で、当院でも視・触診、マンモグラフィ、乳腺エコー等を行っております。この検診により乳癌の方を早期に発見し、適切な治療を行うことにより死亡率を低下させるためには、より多くの住民の方が積極的に検診を受けられることが大切であると思われます。

最後に、乳癌に関して1番大事なことは乳癌にならなくすることは困難ですが、乳癌で命を落とさないことはそれ程困難ではないということです。

部署紹介

4階南病棟

私達の4階南病棟は、脳神経外科・神経内科・耳鼻科・口腔外科の混合病棟です。ICU5床を含む43床で、看護師20名がその看護に携わっています。そのうち脳神経外科・神経内科の患者様が大半を占めており、意識障害・言語障害・四肢麻痺などの神経機能障害を持つ患者様が多くADL（日常生活動作）に対する援助が当病棟では欠かせないというのが特徴です。



とは言うものの救急で運ばれる患者様も少なくなく、尾鷲や時には紀伊長島から搬送され手術をうけられる患者様もあり、幅広い地域から、そして子供から老人までと様々な患者様を対象としています。

当病棟では固定チームナースングを用いて看護を行っており、チーム内では毎日カンファレンスを開いて現在の患者様の問題点、個々の情報の共有の場とし、より良い看護の提供に努めています。また患者様の高齢化もありADL向上のために、安静が解除された患者様には車椅子への移乗、リハビリ室での理学療法・作業療法を行い、週1回のリハビリカンファレンスを活用しています。休日でも車椅子に乗った患者様が詰所におられるというのも見慣れた光景となっています。最近では意識障害を持つ患者様に車椅子からの転倒・転落の予防のための安全ベルト、少しでも快適に過ごせるようにと車椅子用除圧マットを購入し、毎日の離床に役立てております。

様々な患者様に対応できるよう病棟勉強会を開き改めて学習する機会をもち努力しています。

今後も患者様のニーズに合った、そして安心して入院生活を過ごしていただける様な看護が提供できるよう頑張っていきたいと思っております。

院内トピックス②

地域連携室・医療相談室を開設

4月より地域連携室が開設され、元々あった医療相談室を統合し、新たに「地域連携室・医療相談室」としてスタートしました。職員は4名です。

新たな業務は、地域の開業医の先生方と当院医師との間で、患者様の紹介・逆紹介（紹介元へ帰っていただくこと）を、よりスムーズに、活発に行うためのお手伝いをさせていただきます。

具体的には、かかりつけ医院から紀南病院へ紹介されて受診していただく場合、かかりつけの先生から、前もって受診日時の予約をしていただくことが可能になりました。初回受診時にあまり待たずに受診することができます。紀南病院へ紹介受診する際、予約ご希望の方は、かかりつけの先生にご相談ください。地域連携室はその他に、人間ドック、脳ドック、健康診断等の予約窓口にもなっております。

医療相談室は、開設4年目を迎えましたが、住民の皆様からの直接相談窓口となっております。医療ソーシャルワーカー（MSW）や看護師がご相談に応じております。種々のご相談は、医師やその他関係機関と連絡を取り合って進められます。

場所は外来棟2階の総合受付裏の部屋です。**相談ご希望の方は、外来棟2階の総合受付にお申し出ください。**入院中のためご自分でおいでになれないかたは、病室までうかがいますので、病院スタッフまでお申し出ください。相談内容は、

- ★ 障害者手帳について
- ★ 治療費・入院費について
- ★ 介護保険について
- ★ 高齢者施設・障害者施設の利用について
- ★ 障害年金の対象にならないか？
- ★ 通院手段に困っている
- ★ 福祉機器について
- ★ その他、医療・福祉制度について

などです。お気軽にお声掛け下さい。



外来診療担当表

区分		月	火	水	木	金	
内科	1診	松浦りつ子医長	松浦りつ子医長	松浦りつ子医長	梅田 靖之医師	澤幡美千瑠医師	
	2診	駒田 敬則医師	松井 則夫医師	刀根 克之医師	松井 則夫医師	鈴木 光哉医師	
	3診	刀根 克之医師	梅田 靖之医師	鈴木 光哉医師	澤幡美千瑠医師	駒田 敬則医師	
	//	午後:呼吸器外来					午後:肝臓病専門外来
	4診						午後:糖尿病専門外来
外科	1診	梅田 一清院長	須崎 真副院長	梅田 一清院長	高橋 宏明医長	須崎 真副院長	
	2診	安積 良紀医師	高橋 宏明医長	安積 良紀医師	岩崎 純治医師	岩崎 純治医師	
整形外科	初診	西村 誠医師	森川 丞二医長			新美 壘医師	西村医師(第1,3,5) 森川医長(第2,4)
	予約	森川 丞二医長	西村 誠医師			森川 丞二医長 西村 誠医師	森川医長(第1,3,5) 西村医師(第2,4)
脳神経外科	1診	仲尾 貢二医長	脳 ド ッ ク	芝 真人医師	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長	
眼科	1診	渡辺 聡医長	渡辺 聡医長	渡辺 聡医長	渡辺 聡医長	渡辺 聡医長	
	2診	右京 久樹医師	右京 久樹医師	右京 久樹医師	右京 久樹医師	右京 久樹医師	
産婦人科	1診	菊川 東洋医師	佐原 雅代医師	伊藤 瞳医師	佐原 雅代医師	菊川 東洋医師	
小児科	1診	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	鈴木 幹啓医師	
皮膚科	1診	嶋 聡子医師	嶋 聡子医師	嶋 聡子医師	嶋 聡子医師	嶋 聡子医師	
神経内科	再診	布留川 郁医長	松浦 慶太医師			布留川 郁医長	松浦 慶太医師
	初診					布留川 郁医長 松浦 慶太医師	
泌尿器科	1診	小川 和彦医長	小川 和彦医長	小川 和彦医長	小川 和彦医長	小川 和彦医長	
耳鼻咽喉科	1診	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	
歯科口腔外科	1診	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	

新任医師紹介

皮膚科 嶋 聡子 医師
7月1日着任
前任地: 三重大学附属病院

神経内科 松浦 慶太 医師
7月1日着任
前任地: 三重県立総合医療センター

産婦人科 菊川 東洋 医師
6月20日着任
前任地: 三重大学附属病院

産婦人科 伊藤 瞳 医師
7月1日着任
前任地: 三重県立総合医療センター

産婦人科 佐原 雅代 医師
7月1日着任
前任地: 三重大学附属病院

紀南病院巡回車時刻表

	阿田和駅(JR)	紀南病院前バス停	紀南病院玄関前
病院に来る方	◎ 7:15	7:17	7:22
		7:30	7:35
	◎ 8:00	8:02	8:07
		8:30	8:35
	◎ 8:40		8:45
		9:00	9:05
		9:32	9:35
	◎ 10:11		10:14
		10:30	10:33
	◎ 11:05		11:10
◎ 13:24	13:26	13:29	

	紀南病院玄関前	紀南病院前バス停	阿田和駅(JR)
病院から帰る方	◎ 9:35	9:40	9:45
	◎ 10:14	10:17	
	◎ 10:33	10:36	10:40
	◎ 10:55	11:00	11:05
	◎ 11:10	11:15	
	◎ 11:45	11:50	
	◎ 12:10	12:15	12:20
	◎ 13:29	13:32	

※注: ◎ 出発印

紀南病院交通案内図

